

午後 4時00分 再開

○議長（石川交三君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

1 番工藤政彦議員の発言を許します。1 番工藤議員

○1 番（工藤政彦君） 最後の質問者になりましたけれども、我慢してお付き合いください。

質問に入る前に、まずは今回の災害により被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げます。早い復興を念願するものであります。また、全国様々な方々からのご支援、不眠不休で頑張られている職員に対し、心から感謝を申し上げます。

9月2日土曜日、五城目第一中学校から五中祭への案内がありましたので行ってきました。文化祭に一生懸命に取り組んでいる生徒たちの姿を見て、感動とパワーをいただき帰ってきました。五城目町の未来を担う多くの可能性を秘めたこの子どもたちのためにも、議員としての責務を自覚して頑張っていかなければならないと再認識いたしました。

それでは、通告に従い、質問をしたいと思います。

はじめに、内川川についてです。

湯ノ又橋にかかる水管橋の工事着手の遅れについて。橋から垂れ下がって設置されている水管橋が内川川の氾濫に起因したことは全てではないとは思わないが、その関係性は否めないと思います。なぜ工事着手が遅れたのか説明を願います。

○議長（石川交三君） 執行部の答弁を求めます。渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） 1 番工藤議員のご質問にお答えいたします。

水道添架管の災害復旧工事は、令和5年3月27日契約、令和5年9月29日までの工期となっております。橋本体への工事は、配管資材や建設資材を揃えて施工しますが、添架管は受注生産品であり、制作期間に3か月程度を要することから、現場設置は7月以降の予定となっております。このたびの災害により工程に遅れが生じておりますが、本体への着手は8月16日から行っております。9月4日に被災した管との切り替え通水をしており、現在、被災管の撤去を行っております。

工期内の完成ではありますが、住民の皆様にご不安を与えてしまい、深くお詫びを申し上げます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） その資材が揃うとかいろんなことでいろいろ遅れたという、遅れたというよりか、その関係で3か月ぐらいというような話でしたけれども、それをもっと早く準備することはできなかったのでしょうか。

○議長（石川交三君） 猿田建設課長

○建設課長（猿田弘巳君） 工藤議員にお答えいたします。

今回の災害復旧工事に関しましては、厚生労働省の国庫負担による水道管の災害復旧事業となっております。昨年12月9日ですが、厚生労働省の現地における災害査定を経まして、それを受け災害復旧工事にかかる設計委託を行っております。そのため、どうしても発注が3月に入ってしまった。そういったことがありまして発注が遅れたという認識は持っておりませんので、ご理解をお願いいたします。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 私も発注が遅れたという認識はないですよ。ただその工事着手が遅れてるということなんですけれども、それはやっぱり先ほど町長が言われたような関係が全てだということなんですよね。それ以上どうしても早くできなかったということなんですよね。そうですか。

○議長（石川交三君） 猿田建設課長

○建設課長（猿田弘巳君） お答えいたします。

先ほど町長が申しましたとおり、工場制作品であり、その制作期間がどうしても必要だということでもあります。

以上です。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 分かりました。

続いて（2）の質問です。「身の淵頭首工」が内川川の氾濫に起因していないのか。河川などから農業用水を用水路へ引き入れるための施設として重要な構造物であると理解するけれども、頭首工の開閉を災害時に開放していたのか。開放していたとしても、川の氾濫に影響がなかったのか。

その頭首工の場所なんですけれども、私、滋さんのように予算がないのでパネル買えないで小さいんですけれども、ちょうどここ、ここら辺にあるんですよね。神社の向かいあたりとか、あるんですね、この。いずれその頭首工関係が開放してあったのか。したとしても、してなかったと、してあったとしても、それは影響ないのか。ここなん

ですけども。湯ノ又のここら辺なんです。お願いします。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

頭首工の開閉につきましては、河川水位の上昇に伴い、自動開放する施設となっております。また、堰堤付近からの土砂の流出などの痕跡はなく、川の氾濫に影響がなかったものと考えられます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 頭首工が自動で動くということ分かりました。で、現場に行ったらちょっと写真撮ってきたんですけども、これ頭首工の高さこんなにあるんですよ。で、これがたぶん自動でグーッと稼働して動くんだと思うんですけども、これが。要するに、このままの状態だとすると水位がかなり上がってる状態なので、やっぱり上のほうに影響してくるんですよ。で、これが行ったとしても、ここ自動で開閉するんだよね、自動で。それをこの上から見るとですね、かなり高さがあるんですよ、やっぱり。昔の頭首工ここに、ここら辺にあって。

（「何も分がらねえ、それだけでは」の声あり）

○1番（工藤政彦君） その頭首工、分かりますよね。頭首工のこれが、今、水こっち止められててこっちから見たところであったんだけども、やっぱりこの高さがだいぶ箇所から言うと上がってるんですよ。これ上がってるんだもの。さらにまたここに前の頭首工あるんですよ。これを止めて水入れていくようになってるんだけども。

○議長（石川交三君） 工藤議員、マイクに入れるように話してください。

○1番（工藤政彦君） あ、ですか。だいぶこの水面からいけば、頭首工の高さからいけば、この差がかなりあれなので、たぶんこのぐらいの高さで、これが前の、今ある自動で動く頭首工がこっちのほうにあって、以前からの頭首工がここにあるんですよ。で、だいぶ傷んでる状態なんです。だからこれは当然壊してもらわなきゃいけないと思います。このままとなれば産業廃棄物になると思います。だからやっぱりそういうような形に思いますし、それをやっぱり壊してもらわなきゃいけない。やっぱりその前の水位の高さがあって、一番低いところが川底であって、昔の頭首工があって、またさらにそれ効かないもんだから稼働式の頭首工をつくったと思うんですよ。だいぶ河床の高さが変わっていると思うんですよ。そこの高さを確認したことありますか。

○議長（石川交三君） 大石農林振興課長

○農林振興課長（大石芳勝君） 1番工藤議員にお答えします。

現場でその高さは確認したことはございません。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） ぜひ確認してもらいたいと思うんですよ。だいぶ違うと思います。それもうだいぶあの橋に影響してるんじゃないかなと思う。それちょっと確認してもらいたい、一つ。

次のほうに進んでいくわけだけれども、その頭首工は、できたことなので、もちろん大切なことだし、壊すわけにはいかないと思うんですよ。それで、その内川川全体にも言えることなただけけれども、全面的にその雑木の伐採、浚渫工事が当然必要で、身の淵頭首工の付近から雑木がわあーっとおいてて鬱蒼としていて、堆積した土砂によって急激に川幅がこう減少してるんですよ。だからこの頭首工ができて、たぶん高さ的にも、水位的にもだいぶ上がったと思いますし、なので、やはりこれの影響しているのを防ぐためには、こういう状態なんですよ、川。もう川ないんだす、ほとんど。その身の淵の頭首工過ぎたところから。だからこのぐらいの高さを頭首工であったらば、やっぱり頭首工過ぎたあたりからしっかりもっと広くしないと、これからもかなりの雨が降ってくればダメージ受けると思いますよ。だいぶこういう感じ。それをお願いしたいと思いますけども、いかがですか。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

内川川の伐木、浚渫につきましては、今年6月、浅見内地区を実施しておりまして、今後も引き続き実施する予定であると伺っておりますが、1日も早い完了を目指し、今後も町から強く要望を重ねてまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 頭首工をつくったあたりからその前の頭首工はあって、可動式の頭首工があって前の頭首工があって、そこは工事した後なんでグワっとだいぶ広いんですよ。その幅でいってもらえればいいんですよ。急にまた狭くなってるもんだから、そして高さも高くなってるもんだったために、だいぶ橋のところに影響して氾濫しているという私は何か否めない感じします。その後でちょっと確認してもらいたいと思いま

す。

それで（４）番に行くわけですけども、やっぱりその頭首工、もちろんそのままになっていくと思うし、自動で動いてくれるということ分かりましたけれども、もちろんその雑木の伐採と洲ざらいは当然、川幅確保のためにやってもらいたいです。それでも、もしかしてその解決ができないんじゃないかと。そこで内川川のバイパスの河道工事、要するに河川の付け替え工事ですけども、大休院付近の橋を過ぎてから右側へ住家を過ぎて後ろを身の淵頭首工に取り付ける感じ。身の淵頭首工を越していけば、頭首工からもらう水が田んぼさ行けなくなるんで、その手前につなげないけないと思うんですよ。昨年に引き続いて今回も被害を受けた住民がたくさんいるわけですし、被災された住民のやるせない気持ちが痛いほど伝わってきます。雑木の伐採とか浚渫工事、早期にやってもらいたいということもあるし、この工事をしたから河川の氾濫が防げるとは思えないと、さっきも言いました。だからこそ、このバイパス河道工事をぜひやっていってもらいたいと思うんですよ。もしそれで解決するのであれば、そこまではやらなくてもいいのかなと思うんですけども、それを思います。

ほんで、馬場目川、例に書きましたけれども、国土交通省で平成30年度第2回災害対策緊急事業推進費として、全国22件の災害対策に対し緊急的に予算配分をしました。東北では、平成30年5月豪雨により甚大な浸水被害が発生した「雄物川水系雄物川」と「馬場目川水系馬踏川」の2河川に対し、再度災害を防止するための災害対策等緊急事業推進費が配分されたわけですね。この例に倣って実施して、今後あっても再度災害を防止するために、そういう推進費を活用して緊急的に河川改修を実施してもらいたいという考えがあるんですよ。それが・・・この馬踏川、これです、馬踏川。今までこう通ってあった川がこの青色で示されてるものであって、この黄色がこう床上浸水してしまっただけなんです。それで、この赤でいってるところですけども、ここが河川をバイパスを通したところ。この赤の部分が河川バイパスを通したところ。これ馬踏川。ほんで・・・こう馬踏川、このようにこう流れてました。で、今ここに新しくさっき見せた管がでてきたんですよ。で、やっぱりこの川は・・・こういうふうにしっかりこう護岸組まれてて、ちゃんとした川がやっぱりできたんですよ。で、これで解消してるといって、近くにこういう例があるので、こういうような感じで参考にしてもらいたいと思います。私、ルートの話もしたんですけども・・・大休院ここですな。これがその頭首工あるところだす。で、今の川がこのままこう流れていってるわけだけども、こ

この大休院のところあたりからこの後ろを通過して、こういう形のバイパスつくればい
いでないかなど。こうだす、大休院。後ろへ。でも、簡単にいかねえと思うす。なして
だがつてば、高低差やっぱりあるったすものな。後ろ高いもの。それだけよげ掘削して
いけねくなっちゃうんですよ。でもやり方としてはいろんな工法があると思うので、そ
れを強く提言したいんです。どうでしょうか。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

県では現在、家屋の浸水被害軽減対策を検討しておりまして、今後、町と調整しなが
ら進めていく予定であると伺っております。

また、工藤議員のご提案された河道工事についてであります。県では現在、内川川
に対しまして河道工事の計画は未策定であることから、住民説明会などで住民の方々の
意見をお伺いし、今後どのような対策が有効かを検証し、河道工事も含めて検討する
のであります。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 分かりました。まずいずれ洲ざらい、身の淵頭首工を過ぎたところ
急に狭くなってるもんだから、川っていうより、「へげ」みたいな感じになってるので、
それをやっぱりしっかり早急にやってもらわないと、また同じように繰り返す起
ると思うので、お願いしたいと思えます。もしそれでもあがるようであれば、私もいろ
いろ考えました。橋を上げてたらいいか。橋を上げるとしても、湯ノ又橋を上げると
しても、勾配きつくなるんで無理あるんです、道路から上がるとなれば。斜めにつける
のもいいかと思ったけども、斜め側、斜めに入ってくる場合はいいけども、逆に鋭角に
なってるほうは入れねぐなっちゃういますよ、やっぱりね。全体的にあそこのかさ上げも
考えましたけれども、あの集落のあるところの橋の脇のかさ上げ。かさ上げしたとして
も、橋も一緒に上げないとかさ上げできないですよ。かさ上げして橋だけ低ければ、
そっからばあーっと水入ってくるがら。結局は、橋を上げることはできないとなれば稼
働式の橋かなとも思いましたけれども、それからもやっぱりバイパスしかないのかなど
考えましたので、そこら辺の気持ちというか考え方は、町としてもしっかり持っておい
てもらいたいなど。よろしくお願ひしたいなどと思えます。

続きまして質問の大項目2番、馬場目川についてですけれども、馬場目川と八郎湖の

接続部に「排水機場」を新設できないかということです。

馬場目川においても早急に雑木伐採、浚渫工事が必要であり、現在既に磯ノ目地区付近の工事に着手していただいております。だいぶ広くなったなと思って、これだけいってねえがなっている感じを受けてるんですけども、ただその改修をやりながら川幅は確保していったるようですけども、築堤などのかさ上げは何もやってないのかなと思いました。それも必要ないぐらいの川幅になっていったるのかなとは感じております。また、その大本の馬場目川から八郎湖に注がれる水の流れが滞ったり、大雨により八郎湖水面の調整がうまくいかになく、防潮水門を開けてもスムーズで効率的な流れが実現できなかった。これらの原因で五城目町は甚大な被害を受けてしまったと私は考えています。そこで、大雨などによる市街地や農地などへの水害を未然に防止するために排水ポンプを運転して、雨水や生活排水などを強制的に排出するための施設、「排水機場」の新設を提言するものであります。

例といたしまして、能代市の悪土川、悪い土の川、ここも悪土地区って言われたものだけでも、悪土川というのはやっぱり近年でありました、調べてみたら。米代川との合流地点に設置されている排水ポンプ、悪土川給水排水機場というんですけども、あとはもう一つ、能代市二ツ井の比井野地内にある比井野川緊急排水機場を参考にして、国、県の新規要望をする必要があると感じます。これは米代川の水位上昇により悪土川の排水が不能となった場合に、逆流防止のため門扉を止めて吸水層に湛水させ、水中ポンプにより堤防沿いの吐出管を通して強制的に米代川へ排除して、内水被害の軽減を図るものですよ。で、ちょっと小さくてごめんなさい。大きいパネル作れなくて申し訳ないです。我慢してください。ここにつくられてるんですよ。ここ、これ米代川。悪土川ってあるんだけど、ここみんなやっぱり水浸しになって騒動なったすもの。で、ここはその豪雨だけでなく、豪雨災害だけでなく、その融雪災害。雪解けの災害にもやられたっす。ほんで、こういうのがポンプできたんだすな。それがどういう仕組みだかという、緊急内水対策事業というのがあるんですよ、悪土川の。これが悪土川で、こっち、ここ。ここが米代川。ほんで、ここに水門つくってるんですよ、逆流してこないように。ここは余り流れよくないですな。悪土川の水がこっちさ流れてきて、ここのポンプで強制的に吐き出すと。これ確かに川から川です。でも、ここ馬場目川と想定してください。ここを八郎湖と想定してください。やらねばいけねあんだす、これ。最初、私も防潮水門で調節してと思ってました。でも、防潮水門で調節たって、ほとんど淀んでる状態、逆

流だすもんね。流れていけねえす、今回の場合もそうだと思うけども。だからやっぱりここを止めて、こういうようなポンプつくられてらったすもの。今回の雨でもこのポンプ場があって、これから全部米代川さ流れていくんだすよ。馬場目川ではこれでだば足りないと思うす。もっとおっきいもの。やっぱり足りねえばホースでこうやって、こういうふうなホースで間に合わねえもんだために。ホースでこれ誰かの回答の中で貸し出すとか何とかしてしゃべってあったすねが。たぶんそういうので覚えてるかも分らないんですけれども、いずれ何かの手立てをしないと、また同じことなると思うんです。それをまず強く要望したいんですけど、考え方をお聞きしたいです。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

秋田県によりますと、防潮水門は海水の流入を防ぎながら調整池の水位を安定に保ち、大潟村や周辺農地の取水源を確保しており、大雨など調整池の水位が上昇する恐れがある場合は、事前に防潮水門を開放し、調整池の水位を低下させるとしており、今回の大雨予想時においても事前に開放し、対応したと伺っております。

また、馬場目川と八郎湖の接続部分に排水機場を新設できないかについては、事業要件、事業化などについて県へ相談してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） ぜひその排水機場、いろんたやり方あるようなので、普段は自然に馬場目川から流れていって湖水、水入りますよね。そのところをせき止めて、結構水門も流すのも必要になってくると思うんですよ。だからあんまり門の広いところ、門を長く使わないとすれば、もうちょっと下がったところに門をつくって、しっかり護岸にぎっちり組んで高くして、手前がら水を入れて門を止めて水、こっちから馬場目川の水を流してポンプで強制的に送って、ばーん。今までかつて潟の中の堤防に水が上がったことねえすべ。最初、防潮水門のところさポンプでバーっというのも考えました、日本海側さ。でもそれよりは、何ぼそこ流してもやっぱりそこよどんでるがら、そこにやっぱり強制的にその残存湖さ水送ってやねばだめなんでねえがなと思うんですよ。だからこれ強く要望してもらいたいと思います。国土交通省の仕事だべがら。国交省の仕事ですよ。よろしくお願いします。

それから、2番目の質問です。人の生命と財産を守るための目的などで設置される「排

水機場」ですけれども、なぜ馬場目川流域には設置されていないのか。また、されなかったのかを聞きたいです。

八郎湖には、三種川や馬場目川、馬踏川などの20余りの河川がバーッと注いでいるんですよ。湖には降水も含めて年間およそ12億 m^3 の水が流れ込めると、県のホームページに書かれてました。ほぼ同量が防潮水門から日本海へ流れ出ていると。八郎湖には、北は三種町から南は潟上まで数十か所の「排水機場」が設置されているんですよ。私ちょっと数えてみました。そしたらですね、22つあるんですよ。図面さもちろんと載ってるっす。グーグルマップに。これ確か点々点々あるけれども、これが排水機場なんですよ。もちろん夜叉袋の排水機場もあるし、井川町さも排水機場ついてるっすもの、川来るとこさ、やっぱり。だからなして馬場目川さ、このぐらい大切な水が流れる馬場目川にないのか。こういう感じで馬場目川が一番水流れってくるんです。それがすごく残念に思ってるす。だから、なぜそのようなことを、上のほう、これ三種町のほうだけでも、三種町のほうはこういうふうな形で対流したり、水入れたり出したりしてるんです。ここ、これ一番矢印になってるやつが馬場目川です。これ県のホームページさあるっす。井川町のこうあるっす。それで、防潮水門を越えて日本海さ流れていくわけだけでも、要するにこれをなぜやらねがったっすべが。それ聞きたいです。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

排水機場の設置について、県に確認をいたしましたところ、現時点では設置については考えていないとのことでありましたが、町でも様々な角度から調査し、必要な施設であれば、今後、雄物川圏域流域治水協議会下流圏域分科会において町からも排水機場について提案してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） いずれ排水機場は必要だと思います。今、河川を今伐採して広くなってますけれども、これだけでだば私はまた起きると思うんです。はっきり言って県でないがしろにしてきたんでねえがというふうに私感じてるんですよ。馬場目川、何でこういうふうにはほったらかされてるのか。確かに昔は、昔っていうか、最近、最近なっってから越えてきたり、水越えたり、オーバーフローしてるわけですけども、せば川幅が確保できてあったからそれがなかったのかと、そういうわけでもないと思うんですよ

ね。だんだんにその気候変動も起きてきてるし、それがやっぱり起きてきて総合的な形で起きてると思う。内水氾濫もあると思いますけれども、いずれは馬場目川にうまく流れていかないとやっぱり逆流してしまったりとか、止めてしまわねばねぐなってしまったりとかしてると思うんですよ、やっぱり。これやっぱり強制的に流してやらなきゃ、あのまま自然の流れではそんなに高低差がないと思うがら、ほとんどゆっくりになると思うんですよ。こっちさつながらあたりは。強制的に手前からおっつけて流してやる。もしくは右岸と左岸でダブルで流す。それ絶対必要だと思う。せば安堵して寝にいいですよ。私、大変だと思いますよ、本当に。今回被害受けて。1メートル何ぼも行ったって言ってるすべ。私のうちだば高いどさあっても水のそばでいる人方は本当に生きた心地しないと思うんですよ。やっぱり285号線が通って、五城目町役場がここにあって、警察署がここにあって素晴らしい場所ですよ、区画整理した場所。でもやっぱり低いもの。すり鉢状になってる。越えてしまえばもう何ともかんともならない。せばやっぱり馬場目川の流れをよくしないと何ともなんねえたすやは。だがら強制的に湖水面に流してやねばねえってことだすよ。この自然でいけばそなたに流れていけねえすもの、やっぱり。あとは川幅を広くしてかさ上げした何だりしてて、川の水面をぐっところ下げるとかになるんだと思います、それは。でもそれだけで今後いいのかっていうことですよ。工事するとなれば時間かかるったすよ、町長。すぐ明日になんかできねえす。まずはほら、これもまず国の仕事だわけだけれども、国土交通省動かさねばねえすもの。せっかく国会議員もいることで、一生懸命今回も頑張っていたいろいろ手立てしてもらいました。すごくありがたいことです。だからせっかくだからこういうところを話して理解してもらって、私はやるべきだと思いますけども、どう思いますか。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答え申し上げます。

議員の考えと私の考えは全く同じでありまして、ただやっぱり工事にあたりましては、その順序がひとつスタート時点です、それにはやはり今回設立いたしましたこの下流圏分科会、これを通しまして、そして対策を講じていくというような考えでありますので、ひとつまたいろんな面でそのご指導いただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） いずれ協議しながらということの解釈しましたけれども、やっぱ

りこういうふうな考え方もあるってことと、実際やってるんだすもの。全国的にやってるんだすよ、これって。ここだけの話でねえす。調べてけれす。本当に、ついてますからあちこちさ。だがらやっぱり私も見たらそういうのあったもんだがら、最初だば防潮堤のところさポンプつけてオーバーフローしてこうしてやればいかと思っただけけども、その手前のもっと強制的に馬場目川から早く吐かねえばいけねえと、そういうふうにしたんだすよね。すぐこういうのあったもんだがら提言してるったす。

もしかすると、国のやることだから、もっともっといいいものもあるのかもしれない。だっけこういう話、教えてけねすべ何も。今回、8月7日の日だっけか、川を歩いた時だったって、何もこういう話出ねえんたすや、県で。国のあれだがらって逃げるがもしれねえたって、県でも責めるわけでもないだけけども。やっぱりや、そういうふうな専門的な業種の人方だもの、そういうの、こういうのもあるよ、こういうのもあるからって、やっぱり少しく教えてくれたりとかしてもらいたいですよ。また職員も大変だがと思っけけども、いろんところ調べてやっぱりこういうのあるんだっけということを話したりして、庁議の中でもんだりとか何だりしたりしてやっけく必要があるんでないかと思っけます。いずれゆっくりなんてしてられねえすや。災害は忘れた時にやっけくると。何もだす。すぐ明日に来ますよ。今日来るかも分がらねえ。今、台風13号なっけ、もう大雨降るかも分がらねえ。スピーディーにやっけてもらいたいですよ。よろしくお願っけします。

次に3番目の富津内川についてですけれけども、上山内地区、下山内地区、雑木伐採、浚渫工事の早期着工はもちろんのことだと思っけます。河川の拡幅工事、築堤のかさ上げ工事が必要と考っけます。毎回毎回、ここも水溜まるすもんな。やっぱりこの流れがいくないと、内川も合流したところで詰まっけしてしまうために、やっぱりここ流れをいくしていがねえといけけないんですよ。馬場目川との合流のところでは山岡建設の話、さっけき出たあったんだけれけども、あそこも確かに必要だと思っけす。私思っけんだけども、そういう要所要所のポイントのところに、もしかしてこの排水機場って必要なのかなと。強制的に送る。でもあんまり送られても、また下で溜まっけしまえば大変だと思っけんだすよね。だがらまずは川幅の確保とかさ上げで流域面積を大きくしてやっけ、それが大切なのかなと。まず第一にそれやらなきやいけけないのかなと思っけました。ただ両側やるってばお金かかるでねえすか。じえんこねえ、じえんこねえって言うんだすもの、県でも。だから私思っけに、そしたらば右岸側、住家のあるほう、山内の住家あるほうだすよ。左側、

国道あるほう。右側右岸側だけでも先に上げてしまう。一緒にやってくればそれはそれに越したことはないんですけども、そういう考えが私にありますけど、どう思いますか。

○議長（石川交三君） 渡邊町長

○町長（渡邊彦兵衛君） お答えいたします。

いずれにいたしましても県管理ということでございまして、また、イコール住民の生活を守るための、安心・安全の確保のためにもですね、ぜひともこれは進めてまいりたいと思っておりますが、県との調整も含めながら、その対策を進めてまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 町長の言われるように町で稼いでないもんだから、やりにくいところもあると思います、確かに。町でだっきゃこんなことだっけしてねえでって言いたくなるぐらいだと思いますよ、はっきり言えば。毎回同じこと繰り返しやってらったす、その県、何ぼしゃべっても。何人の議員が今まで洲ざらいのことしゃべってきたもんだ。だから強く、振興局さ行って強くしゃべってきたって話を聞いたす。職員も行って、みんなどこ連れていけばいいねすか。我々議員どごもあんでけれってば言えば行くし、大した力もねえけども、泣いてる人いっぺえいるったって被害を受けて。起きてしまっただらこんなもんだって。対応が悪いもの大体。そういうところをみんなさ案を出し合っただら頑張ってもらいたいんだすよ。何とかお願いします。県どご動かして、国どご動かしてくれです。町長の力だば県どご飛び越して国どご動かす力もあると思います。頑張ってください、町長。

最後の質問ですけれども、畑澤さんも話していましたが、まず浄水場の新設なんだけれども、やっぱり低いところだもんだからかぶる確率高くなってきたすねが、やっぱりこの状態また続くと思うんだすよね。やれ乾がして、ポンプ乾がして乾がね部品何だのこうの、古くなってきて部品の調達も難儀してくる。へば、今回のまず1週間たらずで流れ出たのかな。これ2週間、3週間なんて1か月もなったりしてってこともあり得るたすや。だからその今のものをそのままにしておいて、やっぱり高台さ新設さねばねえってね、町長なんとだすか。

私、提案してるところは、中学校のテニスコート過ぎたこっち側の、川の土手上がったところのグラウンドのところと野球場のライト側の後ろのグラウンドのところレベル

地帯あるんですか。あそこって町有地でなかったけか。まずそこ確認。

○議長（石川交三君） 東海林総務課長

○総務課長（東海林博文君） 1番工藤政彦議員の質問にお答えします。

現在その場所については、町有地かどうか確認はとれておりません。調べた上でお答え申し上げます。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） 何か私の記憶でだば、町有地だったと思うんだすよな。まずそこ確認してけれす。そうすれば、そこに平らなレベル状態なところなので、河原からは離れれば問題起きるもんだすか、ポンプで上げるために。そこもちょっと聞きたい。

○議長（石川交三君） 猿田建設課長

○建設課長（猿田弘巳君） 工藤議員にお答えいたします。

確かに高台に移転した場合は、その取水するポンプの能力の容量、これは当然高くなければ吸い上げる、給水人口に対する取水量が固定されてますので、その分を引き揚げるための容量が必要になってきます。

また、現在取水している箇所については、浄水場としての水量を担保しております。別の場所にその浄水場を移設する場合は、改めてその取水の水利権を得る必要がございますので、ご理解ください。

○議長（石川交三君） 工藤議員

○1番（工藤政彦君） やっぱり簡単にいかないんだなというのは感じました。法面の途中ということもちょっと考えてみたんだけど、法面の途中となればレベル地帯をおっきくとりゃいえば、かなりのりつけてやらなきゃいけないのかなと思ったりして、やっぱり第一であそこあたりを考えればそこしかないのかなと思ったりしてましたので、ちょっと考えてみてもいいのかなと思います。

最後の質問になってしまいましたけれども、いずれまずさっきも言ったように、災害は本当にいつ来るか分からない。今すぐ来るという気持ちで頑張ってもらいたいと思います。やっぱりみんなで努力して、みんなで力を合わせながら、せっかくの考え、案、いい案たぶんみんな持ってると思うので、いろいろやっぱり調べてみたりして、これなんとだすかとか、これなんとだべかとかって一緒に話し合いをして、一生懸命に町民のために頑張ってもらいたいと思います。で、やっぱり五城目町住んでよがったと、町長口癖に言ってます。住んでよがった町だなというふうにみんなが思えるように、ここさ

なんて住んでられねえで、あど出ていがねばねえ、んたくなっただっていう人いっぺえしゃべってるものはあ。そうでなくして、やっぱりそのぐらいの町民に対するその思いをまたしっかり払拭して、しっかりまた新しいどごでもっていく形で、みんなしてこう頑張ってるんだという姿勢を見せてもらいと思いますので、ひとつ大変でしょうけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

これで私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（石川交三君） 1 番工藤政彦議員の一般質問は終了いたしました。

以上で本日の会議は全部終了いたしました。

本日は、これで散会いたします。ご苦勞様でした。

午後 4 時 5 5 分 散会